

# 運輸労連神奈川県連合会 第51回定期大会 報告

日時；2018年09月02日（日）13：00～

場所；ワークピア横浜（横浜市中区山下町24-1）

参加者；川崎運送労働組合 阿部委員長 橋本副委員長 照井書記長（報告者） 竹内書記次長

朝から降っていた雨もやみ、定刻通り尾池県連副執行委員長（丸全昭和運輸労組）の開会宣言のもと、運輸労連神奈川県連合会 第51回定期大会は始まりました。

定期大会の進行役である議長団には、氏田 剛志（SBSフレイトサービス労組）と友岡 栄子（ヤマト運輸労組横浜支部）が選出され、その挨拶の中で氏田議長は、「業界の問題は労働力不足、労働者確保。そのために重要な役割を果たすのが労働組合」と話され、労働運動の重要性を示されました。

大会役員、書記任命に続き、亀崎県連執行委員長（全日通労組）の主催者挨拶冒頭で、激甚災害に指定された西日本豪雨をはじめ、自然災害に遭われた運輸労連の仲間とその地域の方々に、お見舞いとお悔みの言葉を掛けられました。

続いて請願署名185万筆超について結果的には政府原案を覆すことは叶わなかったが、働き方改革に47もの付帯決議を付加出来た成果と、協力頂いたすべての方に感謝の言葉を述べられ、また運輸産業の体質改善をし、若者が入ってきやすい業界にしなければならないこと。中小企業に働く方が個人でも労働運動に関われるように、企業の枠を超えた「合同労組」の可能性を検討していくことを話され、組織強化と共に将来を見据えた労働運動の在り方を表明されました。

来賓挨拶では運輸労連本部より、小畑 明 中央書記長（ヤマト運輸労組）に列席頂き、障がい者雇用の水増し問題に触れ政府、各官庁に再発防止を求めること。請願署名協力への感謝。ハマキョウ、長澤事件を受け、各単組で社内の定年後賃金のチェック。地域は限定されるが集配車両への駐禁免除。亀崎県連委員長も話された「合同労組」について全国でも4例しかなく、中小を取り込み、組織強化の上でも避けては通れないと考え、本部でも検討していることを話されました。



神奈川県連 亀崎執行委員長



運輸労連本部 小畑中央書記長



神奈川県連 執行部

10分の休憩をはさみ、2017年度一般経過報告を望月県連書記次長（川崎運送労組）。2017年度決算報告を高橋県連書記長（全日通労組）。会計監査報告を菊池会計監査（楠原輸送労組）が行い、続いて議事に移り、①第1号議案 2018年度運動方針案。②第2号議案 2018年度一般会計予算。③その他について質疑応答を行い、2018神奈川県連労働運動の根幹であるスローガン、「魅力ある運輸産業をめざし 政策実現に向けた力強い運動を！ ～若者が夢と希望をもって働くことが出来る 未来を構築しよう～」を友岡議長が読み上げ、参加者全員の大きな拍手を持って採択され、すべての報告、決議案が採択、承認を受けました。



神奈川県連 阿部副執行委員長



神奈川県連 望月書記次長



ガンバロー三唱

神奈川県連役員改選、新旧役員挨拶を経て、阿部県連副執行委員長（川崎運送労組）が登壇し、大会役員、書記解任に続き、議長団を解任。議長団降壇挨拶で友岡議長は「運輸業界の労働条件改善が急務。今回の定期大会が皆様にとって実りあるものであってもらいたい」と話され、氏田議長と共に大任を果たされ降壇されました。

最後に2018新体制となった神奈川県連新執行部が前面に並び、亀崎県連委員長の掛け声のもと「ガンバロー三唱」を行い、参加者全員こぶしを高く振り上げ、第51回定期大会を締めくくりました。

## 運輸労連神奈川県連結成50周年記念レセプション 運輸労連神奈川県連OB会結成20周年記念祝賀会

日時；2018年09月02日（日）17：30～

場所；ローズホテル（横浜市中区山下町77）

会場を移し各関係団体、各級議員、県連OBなど多くの来賓に列席賜り、盛大にレセプションと祝賀会が開催されました。開会挨拶は高橋県連書記長が務められ、会の進行役をされました。

主催者挨拶で亀崎県連執行委員長は、運輸労連神奈川県連の成り立ち、歴史を振り返るとともに、経済成長と物流量減少による労働運動の変化を回顧。そして50周年を境とした、目まぐるしく変化していく時代の二ーズに合わせた労働運動の展開を参加者全員に訴えました。続いて運輸労連神奈川県連結成当初の書記長であり、OB会の会長でもある 許斐 庸夫 氏が体調を崩されたため出席が出来ず、鈴木 春郎 氏が代理で挨拶を行い、会場にいる人だけにご多幸、ご健勝を祈念していました。

運輸労連本部より、難波 淳介 中央執行委員長（全日通労組）。連合神奈川からは、柏木 教一会長。交運労協からは、穴戸 秀樹 議長にご列席賜り、挨拶を頂戴しました。

レセプションの中では神奈川県連に集う仲間からカンパを募り、神奈川県交通遺児家族の会に贈呈しました。家族の会の 海上 くに子 会長より、「会に来る子供が少なくなってきた。運転手の安全意識の高まり、安全運転を励行してもらった結果、痛ましい事故が減ったから」と話されました。今一度事故を起こさない、安全運転の想いを強くしなければならぬと感じました。

県連OB会の中でも懐かしい顔を拝見でき、労働運動駆け出しのころに大変お世話になったその頃を思い出しました。労働運動は一人一人の労働者の小さな力を結集することで大きな力に変え、労働環境改善を実現すべく制度政策を企業、政治に訴えていく。そして組合員の幸福を実現していくことを理念としています。そのために多くの仲間が額に汗し、その努力を日々積み重ねています。それともう一つ、労働運動の大きな果実は人と人のつながりではないでしょうか。思いもかけないところで助けの手が差し伸べられる。その手は50年という歴史の中でその昔、私どもの先輩が他の単組に向けた思いが巡り巡って帰ってきたもの。長年労働運動に携わると不思議な感覚でそういう経験をします。組織としての成果と個人としての果実。まじめに取り組んだ組合員はこの2つを手にするものと信じています。



記念品と共に配布されたパンフレットには、運輸労連神奈川県連会50年の歩みが記されています。



主催者挨拶 亀崎県連委員長

難波中央執行委員長

参加された皆様におかれましても、今回確立された神奈川県連運動方針を軸に単組の運動方針を確立し、2018年度、より充実した運動を展開されることを切に願います。

定期大会の運営、レセプション、祝賀会の為、人力された皆様に感謝を申し上げます。また、参加された神奈川県連に集う仲間の皆様、お疲れ様でした。これからも“ともに頑張りましょう！”